

基準達成率の変遷について

環境基準健康項目（昭和 45 年、50 年に設定された項目に限る）に係る、環境基準値超過検体率の経年変化は図 1 のとおりであり、水質汚濁防止法の施行後（昭和 46 年以降）、急速に改善している。

なお、鉛と砒素については、平成 5 年に基準値の見直しを行った事による基準値超過率の上昇があり、その後の超過原因は主に休廃止鉱山による影響と自然由来である。

図 1. 環境基準健康項目の基準値超過検体率の経年変化（昭和 46～平成 19 年度）

